

経営比較分析表（令和5年度決算）

岐阜県恵那市 市立恵那病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
指定管理者(利用料金制)	21	対象	ド訓	救へ輪
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
46,868	30,063	-	第2種該当	7:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
199	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	199
最大使用病床(一般)	最大使用病床(療養)	最大使用病床(一般+療養)
149	-	149

グラフ凡例	
■	当該病院値(当該値)
—	類似病院平均値(平均値)
□	令和5年度全国平均

経営強化に係る主な取組(直近の実施時期)

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	平成15
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

○へき地における医療の提供 へき地医療拠点病院として、市内の公立診療所への医師等の派遣。
 ○救急医療の提供 重症患者の救急搬送受入。休日及び夜間における入院治療を必要とする重症救急患者の受入。
 ○周産期医療の提供 恵那市で唯一の出産可能な医療機関。
 ○小児医療の提供 恵那市で唯一の小児の入院機能を有する専門医療機関。
 ○地域医療を担う人材育成 臨床研修医協力施設として研修医、看護学生、医療技術学生の研修受入指導の実施。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

○経常収支比率・医業収支比率 平成28年度の新病院完成に伴い、固定資産の減価償却費が大幅に増え、費用が増加し、経常収支比率は類似病院平均値を下回り、医業収支比率は類似病院平均値を若干ではあるもの上回る傾向にあります。
 ○病床利用率 平均在院日数の短縮及び新型コロナウイルス感染症の規制緩和後となる中でも、受診抑制・人口減少等による影響で低い数値で推移しています。
 ○材料費対医業収支比率 薬品など材料費の占める割合は、新型コロナウイルス感染症等による入院・外来患者の継続的な受診抑制等により、類似病院平均値を下回っているため、引き続き適正な薬品等の購入に努めます。

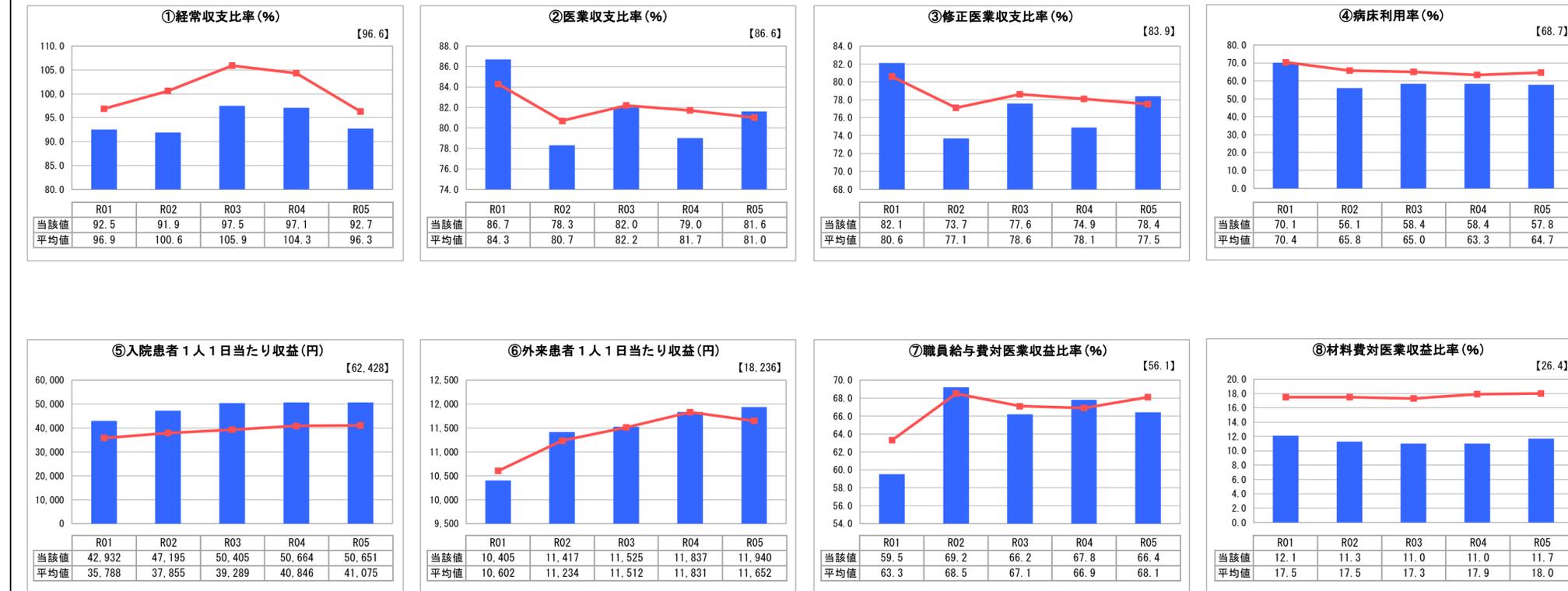
2. 老朽化の状況について

○有形固定資産減価償却率・器械備品減価償却率 平成28年度の新病院完成と、それに伴う機器の更新により、資産の帳簿価格が増加したため、当該数値が類似病院平均値より下回っています。今後、機器の老朽化も考慮し、計画的な更新を行っていきます。
 ○1床当たり有形固定資産 平成28年度に新病院が完成したことにより、固定資産額が増額し、当該数値が類似病院平均値を上回っています。

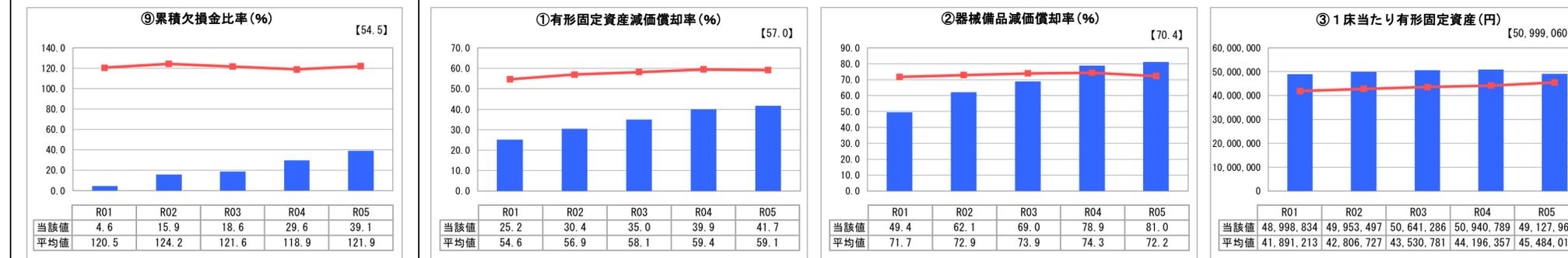
全体総括

平成28年11月に新病院が開院。その後、血液浄化センター、健康管理センターを開設。平成29年4月には産婦人科を開設し、市内で唯一出産可能な医療機関となる等、地域に密着した医療サービスの提供に努めています。
 経営状況は、新病院建設等による投資的経費の増加や感染症等による受診抑制の継続などの影響で厳しい状況ではありますが、医師や看護師等の医療スタッフの充実・維持確保に努め、効率的な医療機器の活用・更新等を行い、近隣の医療機関と連携を取りながら、地域の中核的な医療機関として安定した医療が提供できるように努力してまいります。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和5年度決算）

岐阜県恵那市 国民健康保険上矢作病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	12	-	ド訓	救臨輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
46,868	3,238	第1種該当	-	10:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

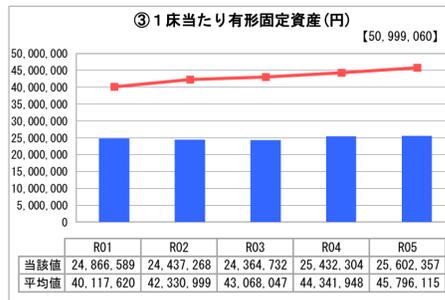
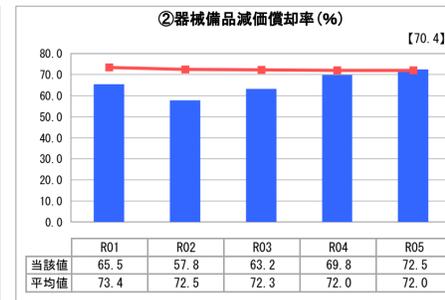
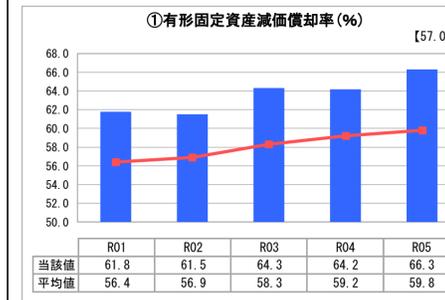
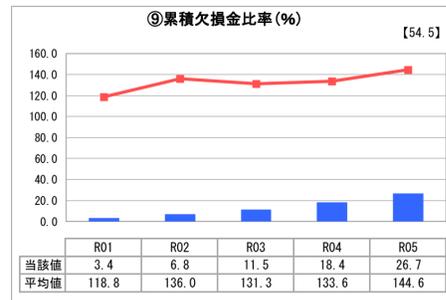
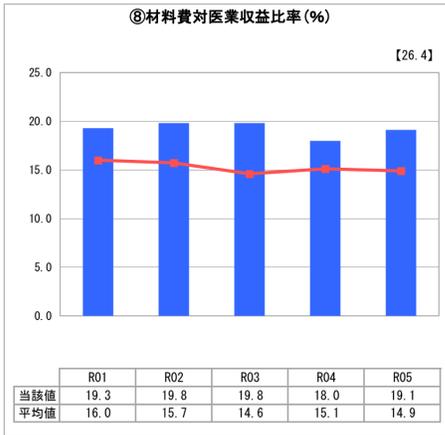
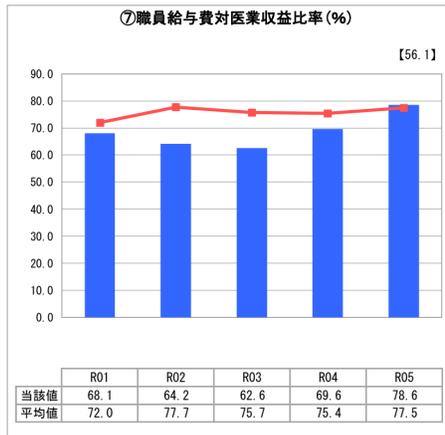
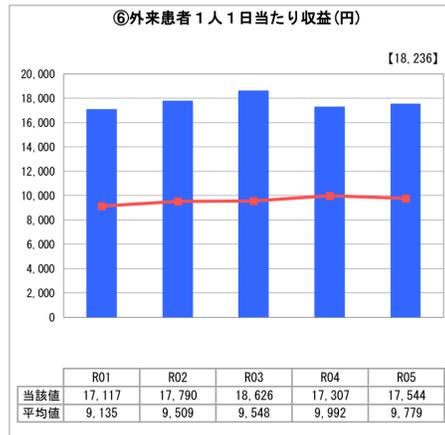
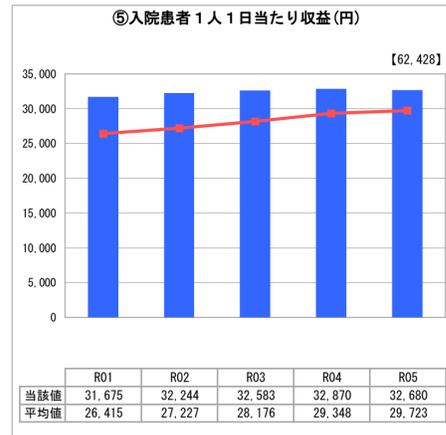
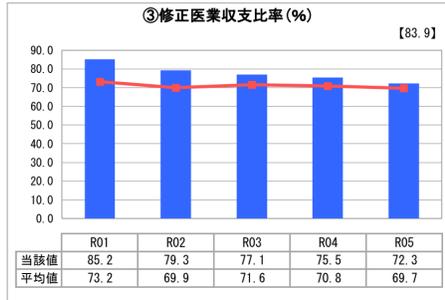
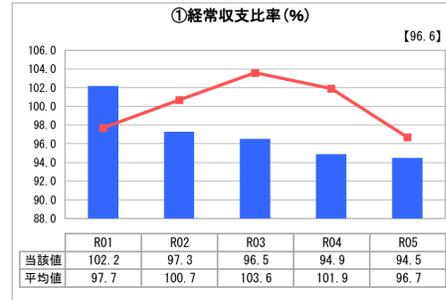
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
56	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	56
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
36	-	36

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

- ・へき地における医療の提供
- ・へき地拠点病院として、市内の公立診療所への医師等派遣。
- ・救急医療の提供
- ・休日及び夜間における治療を必要とする救急患者の受入。
- ・地域医療を担う人材育成
- ・臨床研修医協力施設として研修医、医療技術学生の研修受入指導の実施。
- ・地域包括医療
- ・住民が住み慣れた場所で安心して自立した生活が出来るように医療の提供。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率
新型コロナウイルス感染症の流行による規制緩和後となる中で、引き続き病院利用者の減少により収益が減。
- ② 医業収支比率
前年度より微減となった。この程度で賄えるよう引き続き維持する。
- ③ 病床利用率
新型コロナウイルス感染症の流行や人口の減少による影響で入院患者が減少している。引き続き状況を注視する。
- ⑤⑥ 入院、外来患者1人1日当たり収益
入院患者については微減、外来患者は微増した。類似病院平均値を上回っており引き続き維持する。
- ⑦ 職員給与費対医業収益比率
人件費の上昇に対し収益の減少により人件費の比率が増加している。また、類似病院平均値を上回った。
- ⑧ 材料費対医業収益比率
物価の高騰により微増している。
- ⑨ 累積欠損金比率
収益の減、経費の増により純損失が増えた。よって累積欠損金比率が拡大した。

2. 老朽化の状況について

- ①② 有形固定資産・器械備品減価償却率
建物や設備の老朽化が著しく類似病院平均値より上回っている。器械備品についても令和5年度で類似病院平均値を上回った。いずれも償却率が高く、必要不可欠な器械備品は適宜更新はしているが、建物や設備の更新に必要な費用、時期が大きな課題となっている。
- ③ 1床当たりの有形固定資産
類似病院平均値を下回っている。過大な投資を行わず、適切な更新等計画に基づき投資を行っていく。

全体総括

地域において担っている役割を達成しつつ、地域包括医療・ケアに邁進し健全な運営を行い、近年の経営比較分析表を参考に当院のおかれている状況を把握し運営等に反映していく。
ただし、令和5年度では引き続き新型コロナウイルス感染症等の影響による経営状況の悪化が著しい結果となった。そのような中でも健全な経営・運営を回りながら努力していく。
また、施設の老朽化が大きな課題となっている。